

早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム W-SPRINGプログラム キックオフシンポジウム

2021年10月、本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構が実施する「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受け、博士後期課程学生のキャリアパス確立と経済的支援を目的とし、W-SPRINGプログラムの運用を開始しました。

この度、本プログラムの開始に関連し、本プログラムの概要紹介、博士学生へのメッセージ、すでに本プログラムによる支援を受ける博士学生による研究概要・キャリアプランに関する発表を含むキックオフシンポジウムを開催いたします。

日時 2022年1月30日(日) 午後13時30分～16時20分

会場 オンライン (zoomウェビナー形式を予定)

※事前登録制 (以下URLより参加登録を行ってください)。日本語・英語で実施予定です。
https://zoom.us/webinar/register/WN_yh_hZIp0QcGX-I5I4Psg8A

対象 学生 (主に、早稲田大学博士後期課程に進学予定または進学を検討中の大学院生、学部生) 教職員、一般

13:30-13:40

開会挨拶

早稲田大学副総長・W-SPRING事業統括

笠原 博徳

13:40-13:45

来賓挨拶

国立研究開発法人科学技術振興機構 理事 塩崎 正晴



13:45-13:55

W-SPRINGプログラム概要紹介

早稲田大学理工学術院長・W-SPRING副事業統括 菅野 重樹

13:55-14:25

基調講演「将来の産業界を牽引する博士学生への期待とメッセージ」

株式会社コーセー 理事 荒金 久美



14:35-15:25

W-SPRING支援学生によるプレゼンテーション 本プログラム支援学生 代表12名

15:35-16:15

パネルディスカッション「W-SPRINGプログラムが育成する人材像」

モデレーター： 早稲田大学理工学術院教授 朝日 透

パネリスト：グリーンイノベーション分野/早稲田大学理工学術院教授 林 泰弘

ライフイノベーション分野/早稲田大学理工学術院教授 竹山 春子

デジタルイノベーション分野/早稲田大学理工学術院教授 戸川 望

ソーシャルイノベーション分野/早稲田大学理工学術院教授 所 千晴

16:15-16:20

閉会挨拶

早稲田大学副総長・W-SPRING副事業統括 須賀 晃一



国立研究開発法人科学技術振興機構 理事 塩崎 正晴

1991年東北大学大学院工学研究科修士課程修了後、科学技術庁入庁。その後、2013年より、文部科学省文部科学戦略官、同省にて、初等中等教育局参事官（学校運営支援担当）、科学技術・学術政策局人材政策課長、高等教育局学生留学生課長、大臣官房政策課長、大臣官房審議官（研究振興局及び高等教育政策連携担当）を経て、2021年10月より現職。国立研究開発法人科学技術振興機構では、総括担当、理事長補佐として機構業務を総括。経営企画部（さくらサイエンスプログラム推進本部及び持続可能な社会推進室を除く）、「科学と社会」推進部、戦略研究推進部創発的研究支援事業推進室、研究開発戦略センター、低炭素社会戦略センター、社会技術研究開発センター、科学技術プログラム推進部、科学技術イノベーション人材育成部、理数学習推進部及び日本科学未来館等の業務を担当。

株式会社コーネー 理事 荒金 久美

1981年、東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻修士課程修了後、（株）コーネーに入社。研究所にて化粧品の分析・基礎研究・素材開発に携わる。1997年、薬学博士（東京大学）学位取得。その後、執行役員マーケティング本部副本部長兼商品開発部長、執行役員研究所長、取締役品質保証部・購買部・商品デザイン部担当、常勤監査役を経て、2019年6月より現職。

研究所時代には業界初のリポソーム技術の商品化（モイスチュアリポソーム）に成功、その他数多くのヒット商品を世の中に送り出し、2005年にはライスパワーエキスNo.11を配合した「モイスチュアスキンリペア」で日経ウーマン主催のウーマン・オブ・ザ・イヤー 2005（ヒットメーカー部門2位、総合8位）を受賞。

現在は、（株）クボタ社外取締役、戸田建設（株）社外取締役、カゴメ（株）社外取締役を務める。



早稲田大学理工学術院長・W-SPRING副事業統括 菅野 重樹



1981年早稲田大学理工学部機械工学科卒業。同大学大学院修士および博士後期課程を経て1986年早稲田大学助手。その後、専任講師、助教授を経て1998年より同大学理工学部機械工学科教授。現在は、同大学理工学術院創造理工学部総合機械工学科教授。2016年～2020年創造理工学部長・研究科長。2020年より理工学術院長。工学博士。人間共存ロボット、機械における心の発生などの研究に従事。1990年日本ロボット学会技術賞。2001年日本機械学会論文賞。2008年IEEE RAS Distinguished Service Award。2007年～2012年Advanced Robotics編集長。2012年日本ロボット学会功労賞。2016年IROS Harashima Award。2017年文部科学大臣表彰科学技術賞。2017年計測自動制御学会会長。IEEE・日本機械学会・計測自動制御学会・日本ロボット学会のフェロー。2020年より内閣府ムーンショット型研究開発制度目標3のプログラムマネージャー。

登壇者紹介



早稲田大学理工学術院教授 朝日 透

1992年に博士（理学）、2007年に経営学修士を取得し、Super Technology Officer (STO)となる。早稲田大学理工学部応用物理学科助手、各務記念材料技術研究所助教授、理工学総合研究センター助教授、先端科学・健康医療融合研究機構教授などを経て、現在、早稲田大学生命医科学科・専攻、ナノ理工学専攻、5年一貫制博士課程先進理工学専攻の教授、グローバル科学知融合研究所所長、ナノ・ライフ創成研究機構副機構長を務める。将来のアントレプレナーやインテリプレナーを育成するWASEDA-EDGE人材育成プログラムに取り組み、実行副委員長を務める。学際的研究を推進し、イノベーション人材の育成に精力的に取り組んでいる。専門は、キラル科学、生物物性科学、結晶光学、機能性薄膜、対称性の破れ、コオロギゲノム関連研究。



グリーンイノベーション分野 早稲田大学理工学術院教授 林 泰弘

1994年早稲田大学大学院理工学研究科博士

課程修了、博士（工学）。同大学理工学部助手、茨城大学工学部講師、福井大学大学院工学研究科准教授を経て、2009年から早稲田大学理工学術院教授、2014年からスマート社会技術融合研究機構（ACROSS）機構長、2020年から電気学会東京支部 支部長。主として、環境に適した電気エネルギーの安定供給、都市のエネルギー・マネジメントシステムなどの研究に従事。現在、経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会特別委員、次世代スマートメーター制度検討会委員、スマート・システム専門委員会委員、2050年に向けたガス事業の在り方研究会委員、エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス検討会委員、スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会座長、スマートグリッド戦略専門委員会委員長などを歴任。2015年度～2019年度早稲田大学リサーチアワード、平成31年度文部科学大臣表彰・科学技術賞（研究部門）受賞。



ライフイノベーション分野 早稲田大学理工学術院教授 竹山 春子

1984年東京農工大学農学部環境保護学科

卒業。1992年東京農工大学工学研究科物質生物工学専攻修了（博士（工学））。1991年1月～1994年2月米国マイアミ大学海洋研究所研究員。1994年3月から東京農工大学工学部助手、助教授、教授を経て2007年4月より現職。単一細胞解析、微生物ゲノム工学、マリンバイオテクノロジー、遺伝子資源活用、バイオ計測を専門としている。2020年12月より、ムーンショット型農林水産研究開発事業「土壤微生物叢アトラスに基づいた環境制御による循環型協生農業プラットフォーム構築」のプロジェクトマネージャーとして、完全制御型の持続可能な食物生産システムの完成を目指す。



デジタルイノベーション分野 早稲田大学理工学術院教授 戸川 望

1992年早稲田大学理工学部電子通信学科

卒業、1997年同大学院理工学研究科電気工学専攻博士後期課程修了、博士（工学）取得。早稲田大学助手、講師、北九州市立大学助教授、早稲田大学助教授、准教授等を経て、現在、早稲田大学理工学術院基幹理工学部情報通信学科教授。2014年～2018年早稲田大学理工学術院長補佐、2018年より早稲田大学基幹理工学部長・基幹理工学研究科長。集積システムの設計、量子計算、セキュリティならびに関連する技術分野が専門。総務省の各種委員会構成員やNEDO技術委員を務める。IEEE Circuits and Systems Society All Japan Joint Chapter Chairほか電子情報通信学会、情報処理学会にて各種委員、委員長を歴任。2018年科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞（研究部門）受賞。



ソーシャルイノベーション分野 早稲田大学理工学術院教授 所 千晴

2003年3月東京大学大学院工学系研究科

地球システム工学専攻博士課程修了、博士（工学）取得。2004年4月早稲田大学理工学部環境資源工学科助手、2007年4月早稲田大学理工学術院専任講師、2009年4月同准教授を経て、2015年4月より同教授（現職）。2016年11月より東京大学生産技術研究所特任教授（兼任）。2018年9月より早稲田大学ダイバーシティ推進室長（兼任）。2021年4月よりクロスマピントメントにて東京大学大学院工学系研究科教授。日本学術会議会員、経済産業省中央鉱山保安協議会、産業構造審議会、総合資源エネルギー調査会各委員、その他NEDO、JOGMEC、JST、東京都、川崎市などの各委員を歴任。平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰（理解増進部門）受賞。